

ベトナムの首都ハノイの FDI 誘致が好調 | 2024 年に 30% 増加 成長の期待高まる

2025 年 2 月 5 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 外国直接投資 (FDI)

ベトナムの首都ハノイの FDI 誘致が好調 | 2024 年に 30% 増加、成長の期待高まる

2024 年、ベトナムの首都ハノイは外国直接投資 (FDI) を 2,162 百万米ドル誘致し、2023 年比で 30% の増加を記録した。これにより、ハノイはベトナム全国で FDI 額としては 5 番目に多い省・市となった。新規登録プロジェクトは 293 件で、総額 1,212 百万米ドルに達し、資本増加を伴う 205 件のプロジェクトは 297 百万米ドルの追加投資を受けた。また、279 件の外国投資家が株式購入や資本出資を行い、その額は 652 百万米ドルに上った。最も多くの投資を集めた分野は不動産業であり、次いで製造業、商業、サービス業、建設業、科学技術が続いた。

特に、シンガポールのキャピタランドが投資した 661 百万米ドルの Lumi ハノイプロジェクトは注目を集めている。ベトナム投資計画省の評価によると、2024 年の FDI はインフラが整った地域や安定した人材を持つ都市に集中しており、ハノイもその一つである。ハノイ市は投資誘致に力を入れ、投資家には土地賃貸料の免除や法人税率の優遇措置を提供している。具体的には、法人税率 5% が適用されるほか、初めの 4 年間は税金が免除され、その後 9 年間は 50% 減税される。

元商工省情報センター副所長のレ・クオック・ファン博士によれば、ハノイは地理的な利点や人材面での優位性を持ち続けている。彼はハノイが「グリーンでクリーンなスマートシティ」への移行を進めることで大きな展望が開けると述べた。また、ハノイは FDI 誘致において長年トップ 5 に位置しており、周辺産業の発展にも貢献している。ハノイはハイテク産業への FDI 誘致にも力を入れており、ホアラック・ハイテクパークでは 109 件のプロジェクトが登録されている。今後も社会インフラ開発や適切な政策提案により、多くの投資家を引き付けることが期待されている。特に、大規模プロジェクトには法人税 30 年免除などの優遇措置が適用される。

2025 年には国際的な FDI 環境が厳しくなると予測されており、ベトナム政府やベトナム地方政府はイノベーションやデジタル技術、人材育成にさらなる投資が必要であると専門家から指摘されている。

ハノイ市は今後も FDI 環境を改善し、大手企業誘致に向けた準備を進める方針だ。特に 2024 年に新たに制定された首都法は、多くの特別なメカニズムを提供し、大規模な投資家にとっての魅力を高めることが期待されている。このような背景から、ハノイは FDI 誘致において今後もさらなる成果を上げることが期待される。

以上